

2024年2月 教会行事予定表		
曜	午前	午後
1 木		
2 金		キリスト教講座①18:30
3 土	掃除：楽山	
4 日	ミサ9:30 (典礼：太平洋) 運営委員会	
5 月		
6 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
7 水	こっとな倶楽部 10:00	
8 木		
9 金		キリスト教講座①18:30
10 土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後 掃除：楽山	
11 日	集会祭儀 9:30 (典礼：白鳥) 例会日	
12 月		
13 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
14 水	こっとな倶楽部 10:00	灰の水曜日ミサ18:00太平洋
15 木		
16 金		キリスト教講座①18:30
17 土	掃除：楽山	
18 日	ミサ9:30 (典礼：楽山) ブロック会議 (東室蘭) 1:30	
19 月		
20 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
21 水	こっとな倶楽部 10:00	
22 木		
23 金		キリスト教講座①18:30
24 土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後	
25 日	集会祭儀 9:30 (典礼：蘭岳) ミニ大掃除の日	
26 月		
27 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
28 水	こっとな倶楽部 10:00	
29 木		



**2024
大新年会
1月21日
ミサ後
ビンゴ大会
会費 ¥100**

商品の寄付は大歓迎です。玄関に大きい箱を設置します。よろしくお願ひいたします。



2024典礼・掃除当番の地区表			
太字はミサです	1月	2月	
1週	ミサ	蘭岳	大平様
2週	集会	大平様	白鳥
3週	ミサ	白鳥	楽山
4週	集会	楽山	蘭岳
5週			
	掃除	楽山	蘭岳



**2024
1/14**

ひとつになろう

カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-7
☎0143-44-3851



能登半島地震と羽田航空機事故

日曜日の説教

あなたの言葉は「わたし」の道の光

2024年1月7日

B年
主の公現
マタイ2・1～12

Fr. YASU

新年早々、能登半島地震と羽田航空機事故

新年2024年が始まりました。穏やかに始まったと思っているところに、いきなり能登半島の大地震、はたまた、羽田空港における飛行機同士の衝突事件のが飛び込んできました。なんという年の始まりなんだろう、と悲嘆にくれる人、正月ののどかな雰囲気に浸っているところではないと、落ち着かない人、喜びも嬉しさも瞬く間にどこかに吹っ飛んでいきました。

新型コロナが第5類に引き下げられたことを受けて、数年ぶりに故郷に帰省中のご家族もいたであろう能登半島の町々。一瞬のうちに命を落とされた方もいるとの報道があります。しかも、冬の真ただ中。避難生活もままならないでしょう。どこで地震が起きてもおかしくない日本列島。石川の方言「えちゃけな」（かわいい）お孫さんたちが着る晴れ着姿を見て、今年もいい年でありますように、皆が元気に過ご

すことを祈願してお宮参りを済ませたその後に、いきなり訪れた災難でした。

一方、羽田の衝突事件は、海保機が、能登半島地震の災害地に、救援物資を輸送するために新潟航空基地を目指して離陸するため、滑走路を走行中だったというのです。さらに悲しいことに、日航機の乗客乗員379人は全員脱出できたのですが、海保機の乗員6人は、機長を除く5人の死亡が確認されたのです。ある海保関係者は、「これまでにない事故が起きてしまった。情報がなかなか入ってこず、やきもきしている。地震の救援活動に影響を出してはならないのだが……。」と声を詰まらせています。（読賣新聞西部本社2024年1月3日朝刊）

大事件、大事故の度に拡散するSNS偽情報

いやなことはこれだけでは終わらないのが今の時代です。何かの事件が起こるたびに、これまでも問題になってきましたが、偽情報が平気で飛び交ってしまうのです。この度の能登半島地震をめぐり、SNS上で偽情報が拡散しているといいます。実在しない地名を挙げて救助を求めたり、原因を「人工地震」と書き込んだり。「足が挟まって動けません」「助けてください」。X（旧ツイッター）ではそんな投稿が広まっています。中には、QRコードを付けて寄付を呼びかけるケースもあります。さらに、東日本大震災の津波の動画を加工したとみられる映像を、今回の地震による

津波のように紹介している投稿もあったといひます。(同上紙)

イエスの時代においても、情報は大事な位置を占めていたのだと思います。その情報の伝播の在り方、速さには、それこそ今のほうが明らかに確実だし、速いし、より便利であることは確かです。さらに、伝達内容の質と量においてもかなりの豊かなものを伝達できます。



イエス誕生の時にも「情報戦」があった！

当時の情報で気になっていたのが、「救い主、真の王」についてでした。当時のユダヤの王、ヘロデにしても、自分の地位を脅かすもう一人の王のことがどうしても気がかりだったのです。彼はガリラヤの反乱を鎮圧し、ローマ皇帝の政治力、軍事力をバックに、パレスティナに大きな権力と特権を確立しています。その支配は30年以上にわたりますが、重税、強制労働、疑わしいものに対する容赦のない粛清など、人々にとっては決して安住の地ではなかったのです。晩年には猜疑心が旺盛になり、王位を狙う怪しき者、疑わしい者に対しては、次々と殺しています。でも、そのうちに彼は歴史からその名が消えていきます。

東方からの訪問者が、こうした情報を知らないわけでもなかったでしょうが、その彼らは、当のユダヤの王、ヘロデを訪ねて「真の王」について尋ねるのです。三人の博士たちの「真のメシア」を尋ね当てようという思いが、ヘロデへの怖さに打ち勝ったのでしょうね。臆することなく王の前に進みます。

3人の博士を導いた“輝く星”に着目したい

また、聖書の原文では、東方では三人の博士かもしれないが、「マギ」と呼ばれ、ユダヤ人から見れば、彼らは偶像崇拝者で、異教徒の中でも最低のものです。その彼らを「真のメシア」のもとに導いてくれたのは「光り輝く星」でした。星は、飢えた真の心を導く神の息吹であり、歩を進めていく道の光です。

それは今もなお、わたしたち老若男女の区別なく、民族の違いを超えて、才能があるなしに関係なく、すべての人に働きかける神の光なのです。わたしたちはそのことに気づいているのでしょうか。

今年みたいに、新年早々悲惨な出来事に遭遇し、悲しいことが重なって続きますと、愚痴と小言をたくさん神に訴えますが、逆に、いいことが続いて起こると、こんなことでいいのかなと思ひ、喜んで神に感謝する代わりに、「なんだか悪いな」という不安な気持ちになっていくのです。どこか正直者ではないですよ。 「こんないいことが続いていいのかな」と思うのが日本人らしくていい、奥ゆかしいと思う人が多いのでしょうか。これが日本人らしい「控え目な姿」なのでしょうか。

全ては神の救いのわざ、神の導きは不思議

今日の福音の話の中心は、不思議な星に導かれて「ユダヤの真の王」を訪ね求めて、東方から旅してきた訪問者です。彼らの「ユダヤの王はどこに生まれたのか」という問いは、その時代を知る人からすると、衝撃的な、とんでもない言葉でした。上述したように、ヘロデはその当時絶大なる権力を保持していたからです。そのヘロデの前に彼らは進み出たのです。そして、堂々と問いを投げかけます。それに対して「ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。そして、『行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう』と言ってベツレヘムへ送り出した。」のでした。

神の導きは不思議なものです。訪問者の問いを聞いたときに、ヘロデは怒るどころか、むしろその場所を教えて、訪問者たちを送り出すのです。また、彼らと一緒にいかなかったのも不思議です。一緒に行き、イエスを亡き者にすることは、いとも簡単にできたはずなのに。

これがすべて、神の救いのなさり方です。

今一度、他者に心配りするように、日々のわたしたちへの神からの働きかけに、なさり方に気を配ってみましょう。神への心配りができる日々であるように、・・・。



2023年度第9回運営委員会 議事録

2024年1月7日(日)10:50~13:30

議事録1. は、開催日時が表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報告:

3.1. 1月/2月の予定

1月 1日(月)神の母聖マリア	ミサ(蘭岳地区典礼当番) 10:00	ミサ後、新年交礼会
1月 7日(日)主の公現	ミサ(蘭岳地区典礼当番)	ミサ後 運営委員会
1月14日(日)年間第二主日	集会祭儀(太平洋地区典礼当番)	壮年部・女性部 例会
1月21日(日)年間第三主日	ミサ(白鳥地区典礼当番)	教会新年会
1月28日(日)年間第四主日	集会祭儀(楽山地区典礼当番)	
2月 4日(日)年間第五主日	ミサ(太平洋地区典礼当番)	ミサ後 運営委員会
2月11日(日)年間第六主日	集会祭儀(白鳥地区典礼当番)	
2月14日(水)	灰の水曜日(太平洋地区典礼当番)	ミサ 18:00
2月18日(日)四旬節第一主日	ミサ(楽山地区典礼当番)	ブロック会議 1:30 於: 東室蘭教会
2月25日(日)四旬節第二主日	集会祭儀(蘭岳地区典礼当番)	

※毎週の行事(変更の場合あり)

- ・火曜日午前10時~ OPC(パソコン教室)
- ・水曜日午前10時~ こっこん倶楽部
- ・金曜日午後6時30分~ キリスト教講座
- ・第二、第四土曜日午前10時~ミサ ミサ後、キリスト教講座

3.2 財務報告 現時点では特に問題ありません

4. 議事:

4.1 教会の新年会について

(ビンゴ大会)1/21(日) 会費 ¥100 賞品は¥100ショップで用意
寄付は歓迎 大きい箱設置 主に女性部担当

4.2 1月、2月からのミサ、集会祭儀の典礼当番について(4ページの表をご覧ください)

4.3 灰の水曜日(2/14)のミサ時間について

昨年のソテツの葉。回収致します。締切: 2月11日 ミサ 18:00

4.4 枝の主日(3/24)について

例年通り行列の実施する。枝の祝別は、ライヤ神父様に事前に実施して頂く

4.5 能登半島災害支援について

コツトンの売上げ 9万円+4万円(パソコン教室) をカトリック名古屋教区に先に送付。
別途募金箱を廊下に設置して協力を頂く

4.6 その他

- ・四旬節の黙想会は、襄島神父様に打診。
- ・ルンバで発生したお金は、部品購入に充当する。
- ・聖書と典礼は、次回から大小各30部に統一して発注する。
- ・分かち合い 2月の第3日曜日に実施して一粒会について当教会の考えをまとめる。
- ・現状の「葬儀のしおり」見直しを実施する。

5. ミサ・集会祭儀の予定

1/1 ライヤ師 1/7 ライヤ師 1/14 集会 1/21 ライヤ師 1/28 集会
2/4 ライヤ師 2/11 集会 2/18 ライヤ師 2/25 集会